

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

10746

学校体育施設開放事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	教育費		
	項	保健体育費		
	目	体育振興費		
	大事業	体育振興事業		
中事業	学校体育施設開放事業			

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	生涯学習課	松下 行男 435-1138
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	小・中・義務教育学校体育施設(グラウンド・体育館)を、野球・ソフトボール・サッカー等の使用目的のある生徒、その他の一般市民に貸し出すことで、スポーツの振興に寄与し、市民の健康保持増進と、スポーツ人口の増加を図る。		ナイター設備の管理に係る光熱水費、修繕費の支出や、学校体育施設開放に要する費用を支出しています。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	学校体育施設(体育館)の開放 学校体育施設(夜間照明施設)の開放	学校体育施設(体育館)の開放 学校体育施設(夜間照明施設)の開放	学校体育施設(体育館)の開放 学校体育施設(夜間照明施設)の開放	学校体育施設(体育館)の開放 学校体育施設(夜間照明施設)の開放	学校体育施設(体育館)の開放 学校体育施設(夜間照明施設)の開放	学校体育施設(体育館)の開放 学校体育施設(夜間照明施設)の開放

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	6,770	6,657	5,903	5,403	5,960	6,274	6,513	0	6,513	0
伸び率(%)	6.9%	13.2%	△12.8%	△18.8%	1%	16.1%	9.3%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,719	5,719	5,255	4,937	4,500	4,577	4,887	0	4,887
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	5,719	5,719	5,255	4,937	4,500	4,577	4,887	0	4,887
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,050	2,233	2,128	2,201	2,346	3,416	2,334	0	0	0
一般財源(税等)	4,720	4,424	3,775	3,202	3,614	2,858	4,179	0	6,513	0
所要人数(人)	正規職員	0.71	0.71	0.66	0.62	0.58	0.59	0.63	0.00	0.63
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	消耗品費 873千円、光熱水費 3,769千円、 所々修繕費 700千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
開放学校数		校	目標値	68	68	68	68	68
			実績値	68	68	68		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
学校体育施設(体育館)の利用団体数		団体	目標値	510	570	570	570	570
			実績値	562	583	566		
			達成度(%)	110.2%	102.3%	99.2%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	ナイター設備のある中学校のグラウンドを、野球、ソフトボール、サッカーなど、一般市民に貸し出すことで、スポーツに接する機会を与え、スポーツ振興に寄与し、スポーツ人口の増加に繋がっています。また、小・中・義務教育学校の体育館を学校教育に支障のない範囲で、市民に貸し出すことで、スポーツの推進に貢献しています。
見直し・改善内容	地域住民のスポーツ活動の場として、事業を継続しながら、コスト縮減についても検討していく。